

令和5年度 社会科 授業改善推進プラン

大田区立相生小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・問題を解決しようと意欲的に活動に取り組む児童が増えた。
- ・都道府県名などの単語はある程度覚えることができている。(知識・技能)
→反復練習をしてきたことがつながっている。

(2) 課題

- ・3観点のうち、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」について、平均正答率より下回っている。
- ・単語はすぐに答えることができるが、暗記にとどまっており、それを活用したり説明したりするなど、習熟が不十分。
→知識・技能は身に付いているが、思考・判断・表現は身に付いていない。
- ・身近に感じるができない領域が低い傾向にある。
→都道府県の様子(5年)、日本の水産業(6年)など

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率(経年比較)

	令和5年度結果	令和4年度結果	令和3年度結果
第4学年	<p>問題全体の校内正答率は、前年度よりも、8.1ポイント上がった。目標値と比べても、0.5ポイント高い。目標値より正答率が高かった領域は以下の通りである。</p> <p>【地域や市の様子】 【生産や販売】</p> <p>目標値より正答率が低かった領域は以下の通りである。</p> <p>【安全を守る働き】 【市の様子の移り変わり】</p>	<p>問題全体の校内正答率は、前年度よりも0.5ポイント下がった。各問題のほとんどの項目で、目標値を下回っている。基礎的な問題の正答率が大きく下回った内容は、以下の通り。</p> <p>【地域や市の様子】 地図記号、地図の読み取り 【生産・販売】 買い物調べの表の読み取り 【安全な暮らし】 警察(交番のはたらき) 【市の様子の移り変わり】 年表の読み取り 【くらしの移り変わり】 調べ学習の方法、道具の役割</p>	
第5学年	<p>問題全体の校内正答率は、前年度よりも15.6ポイント下がった。目標値と比べても、10.1ポイント低い。目標値より5ポイント以上正答率が低かった領域は以下の通りである。</p> <p>【都道府県の様子】 【生活環境を支える活動】 【自然災害からくらしを守る活動】 【伝統や文化、先人の働き】 【特色ある地域の様子】</p>	<p>問題全体の校内正答率は、前年度よりも4.8ポイント下がった。各問題のほとんどの項目で、目標値を下回っている。基礎的な問題の正答率が大きく下回った内容は、以下の通り。</p> <p>【くらしを支える水】 グラフの読み取り 【ごみの処理と利用】 【自然災害(地震)】 【特色ある地域の様子】 複数の資料からの読み取り 【先人のはたらき】 年表の読み取り</p>	<p>全ての項目で目標値を下回っているが、知識・技能については、全国平均と大差はない。都道府県の様子については、全国平均を上回っている。 (第4学年時)</p>

第6学年	<p>問題全体の校内正答率は、前年度よりも4.2ポイント下がった。目標値と比べても、11.5ポイント低い。目標値より5ポイント以上正答率が低かった領域は以下の通りである。</p> <p>【世界の中の国土】 【日本の水産業】 【日本の食料生産】 【自動車をつくる工業】 【日本の工業生産】 【情報を生かした産業】 【自然環境と国民生活】</p>	<p>問題全体の校内正答率は、前年度よりも5.4ポイント下がった。各問題のほとんどの項目で、目標値を下回っている。基礎的な問題の正答率が大きく下回った内容は、以下の通り。</p> <p>【世界の中の国土】 赤道の位置、雨温図の読み取り、北方領土 【日本の食料生産】 品種改良、複数の資料から読み取り 【日本の工業生産】、 自動車の生産工程、製品開発の目的、地図の読み取り、グラフの読み取り 【情報を生かした産業】 【自然環境と国民生活】 表の読み取り、複数の資料から読み取ったこととの関連付け</p>	<p>全ての項目で目標値を下回っている。特に「記述問題」の正答率が目標値を大きく下回っている。(第5学年時)</p>
------	---	--	--

(2) 分析 (観点別)

- ・全体的に資料をもとに考える点に苦手意識があることが分かった。理由として、以下の点が考えられる。
 - a 資料を読み取ることに慣れていない。
 - b どの資料を活用すればよいか分からない。
 - c 資料を活用することができるが、表現の仕方が分からない。
- ・特に課題の見られる問題を集計したところ、以下のことが分かった。
 - a その多くが短答もしくは記述問題であること
 - b 上記aの問題では、無回答の児童の割合が誤答を記述している児童の割合よりも高いこと
- ・調べたことを工夫してまとめようとする態度が十分でない。調べたことをそのまま使って終わりとする児童が多い。

① 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
◎簡単な資料を読み取ることができている。 △安全やくらし、仕事に関する基礎的な知識の定着が十分ではない。	◎資料をもとに、読み取ったことを表現できる。 △資料をもとに、変化や工夫に気付いて表現することが十分に身に付いていない。	◎興味・関心をもって調べることができる。 △調べたことから、大切なことに気付いたり、工夫してまとめたりしようとする態度が十分ではない。

② 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
◎都道府県の場所を、ある程度把握することができる。 △年表や地図など、複数の資料から読み取る力が十分ではない。	◎写真や図から、気付いたことを表現できる。 △資料から読み取ったことを、文章でまとめ、表現する力が十分ではない。 △単語はすぐに答えることができるが、それを説明することができない。	◎興味・関心をもって調べることができる。 △調べた内容をそのまま用いるなど、工夫しようとする態度が十分ではない。

3 授業改善のポイント（観点別）

- ・読み取りの体験を増やし、読み取れたことの成功体験を実感させる。一度読み取りで成功することによって、コツをつかむことができる。
- ・教師の発問を工夫する。
 - 「調べましょう。」と声を掛けるのではなく、「なぜ、〇〇は△△なんだろう？」と、児童が自ら問いをもって学習に取り組むような、問題解決的な学習の実現を図る。

(1) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・地図の読み取りや、資料の読み取りをする活動を増やし、正しく読み取る技能を高め、基礎的な知識を習得させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料から読み取ったことの中から大切なキーワードや苦労や工夫に関することに気付き、ノートにまとめる活動を取り入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料から読み取ったことが、自分たちの生活にどのように関わっているかを考えさせ、学習のまとめを書かせたり発表させたりする。 ・児童に問いをもたせるよう工夫し、「調べたい。」と思えるような授業展開にする。

(2) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・地図や年表などの資料を活用した活動を増やし、複数の資料から情報を集めることに慣れさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料から読み取って終わりとするのではなく、自分の考えや、ポイントをまとめる時間を設け、表現することに慣れさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・調べ学習の際には、調べ方やまとめ方について学習する時間を設ける。配慮が必要な児童は、個別に指導をする。 ・児童に問いをもたせるよう工夫し、「調べたい。」と思えるような授業展開にする。